



横浜市立今宿小学校

<今宿小学校学校教育目標>

☆☆育てたい「いまじゆくの子」☆☆

- い ○いきいきとした心と体をつくる子 (体)
- ま ○学びをいかそうとする子 (知)
- じ ○自分とみんなを大切にする子 (徳)
- ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子 (公)
- く ○くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子 (開)



今宿小学校 WEB ページへ

ししつ のうりよく そだ 資質・能力を育てていきます

校長 島田恒弘

夏休みに入る前に、子どもたちには家族に対して「5つのやくそく」を実行するように話しました。また、夏休みにしかできないことをたくさん体験してほしいと話しました。各家庭でのお子様の姿はいかがでしたでしょうか。

「5つのやくそく」に関連する、うれしいお電話をいただきました。ご近所にお住まいで、普段車いすを利用しているというその方は、「車いすで移動しているときに、本校児童から『大丈夫ですか?』と声をかけ助けてもらい、元気が出ます。



ありがとうございます。」とのことでした。まさに「手足は人を助けるために使おう」が実現された姿であり、学校教育目標の「人の役に立とうとする子」の姿だと思えます。

夏休みにしかできない体験として、地域行事や水泳教室・水泳大会への参加、読書などにも励んだ児童がいたのではないのでしょうか。机に向かうだけでなく、様々なことを体験し、挑戦し、感じ、考えることは、大人から見たら一見、無駄と思えることでも、子どもたちにとってはとても大切な学びだと思えます。体験を通して学んだことは、生きる上できっと役に立つでしょう。

さて、教員も夏休み中に研修会等に参加したくさんのことを学びました。今年度は、学習指導要領改訂に伴い、教育課程全体で育成を目指す資質・能力について学んできました。

これからの時代を生き抜いていくには、各教科・領域全体を通して資質・能力の育成が不可欠で、問題を発見し仲間と協働的に解決する力や自己肯定感を土台に夢や希望をもち生き方を追求する姿勢を育むことが必要ということでした。今宿小学校では「問題発見・解決能力」と「自分づくりに関する力」を、教育課程全体を通して育成していきます。

8月27日には夏休みも終わり、大きな事故なく子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。プールでいっぱい泳いだり、精一杯仲間を応援したりと、素晴らしいスポーツの姿を見せてくれた子どもたちや、代表として市の水泳大会に出場した選手もいます。お囃子を演奏し、地域の方々と共にまちのお祭りを盛り上げてくれた子どもたちなど、夏休みのたくさんの価値ある体験から、それぞれの目標達成に向けた努力を重ね、一段と成長した子どもたちの元気な笑顔に触れる事ができたことを、たいへん嬉しく思います。夏休みのたくさんの思い出が、みなさんの心の中に刻まれ、これからの日々の生活に活かしていけることを願っています。



副校長 稲葉 靖